

佛教大学広報誌

B-ism

佛教大学

B-ism
No.26

発行日
2023年(令和5年)7月20日

発行所
伊藤 真宏

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学広報課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 佛教大学 紫野キャンパス

NO.26

巻頭特集 | スペシャル鼎談

2 「『還愚』〜はじまりは自分のなかにある〜」

6 「授業参観 教員・研究紹介」
英米学科編
文学部 英米学科
稲永 知世 准教授

8 学生編集室の窓
佛大生記者が書く！ 「めざせ！ 保健師」

10 B・I・I 研究報告
歴史学部 歴史文化学科
堀 大介 教授

12 クラブ・サークル見聞録
特別編 Special
体育会、文化会、報道本部

13 Favorite 「先生のお気に入り」
楊船教授 中国学科
書道作品「韶光養晦」

14 輝き Close Up 活躍する学生たち

15 Listen UP OB・OG 訪問
株式会社伊藤右衛門 代表取締役社長
広瀬 穂治さん

16 hot TOPICS 大学の動向

21 BOOK Information 教員著書紹介

22 B-information みんなの掲示板

『還愚』 〜はじまりは自分のなかにある〜

学長
仏教学部仏教学科教授
伊藤 真宏
副学長兼事務局長
仏教学部仏教学科教授
山極 伸之
教育推進機構長
歴史学部歴史文化学科教授
斉藤 利彦

3年余り猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は佛教大学にも激震を与えた。ようやく日常を取り戻した現在、キャンパスには学生らの笑顔がはじける。100年に一度といわれたパンデミックから私たちは何を学び、それをどう未来に生かしていくのか。伊藤真宏学長（仏教学部仏教学科教授）、山極伸之副学長兼事務局長（同）、斉藤利彦教育推進機構長（歴史学部歴史文化学科教授）の3人に語り合っていた。

卒業式中止、ロックダウンで危機感が広がる

伊藤 コロナ禍最中の2021年に学長に就任し、大学の危機対策本部会議に本部長として臨みました。感染している方が多数おられる中、責任の重みをひしひしと感じたことが一番印象に残っています。今ようやくキャンパスに学生が戻り、休み時間に笑い声が聞こえるのがうれしい。コロナはまだ終息したわけではありませんが、学生には思い描いた通りの学生生活を送ってほしいと思います。

山極 経験のない状況の中で、戸惑いながらオンライン授業を手探りで始めました。事務局長に就いてからは、大学という大きな組織の動きを止めないことに尽力しました。感染の波を繰り返すうちに世の中の意識は刻々と変わり、社会の要

請も変化する中で、オンラインと対面を組み合わせた。初めての状況に対応する毎日でした。感染症法上の位置付けは変わっても、私の意識の中で「コロナは続いている」という思いは今も変わりません。

斉藤 2019年度卒業式、2020年度入学式

中止が決定された2020年3月あたりから、全学的に危機感が共有されたと思います。2020年度は、春学期オリエンテーション初日に、府県をまたいで移動自粛が求められたことをつけ、学内をロックダウンすること、通学課程の授業は遠隔授業で対応することが決まりました。遠隔授業を円滑にすすめるため、部署を横断するかたちで「遠隔授業サポートセンター」が設置されました。学外からも高い評価を得た取り組みです。全学的なプロジェクト型業務の原型といえるもので、これからの

伊藤 真宏(いとう まさひろ)
1964年、兵庫県生まれ。1992年3月、佛教大学大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻単位取得満期退学。修士(文学)。佛教大学非常勤講師、佛教大学仏教学部准教授、佛教大学仏教学部教授・仏教学部長を経て、2021年4月から現職。専門は浄土学・日本仏教文化史。著書に「法然さま二十三のお歌」(浄土宗出版室、2018年)ほか。

斉藤 利彦(さいとうとしひこ)
1971年、兵庫県生まれ。2000年3月、佛教大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。佛教大学アジア宗教文化情報研究所ポストドクター、佛教大学宗教文化ミュージアム学芸員、佛教大学歴史学部歴史文化学科准教授を経て、2019年から佛教大学歴史学部歴史文化学科教授。学生支援機構長を経て、2023年4月から現職。専門は日本芸能史。著書に「近世界と歌舞伎」(大阪公立大学共同出版会、2008年)、「近世上方歌舞伎と唄」(思文閣出版、2012年)ほか。佛教大学学術奨励賞、歌舞伎学会奨励賞を受賞。

山極 伸之(やまぎわ のぶゆき)
1961年、長野県生まれ。1990年3月、佛教大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。マールブルク大学宗教資料収集研究所客員研究員、イエール大学客員研究員、佛教大学教授などを経て、2009年4月～2015年3月、佛教大学学長。2010年から佛教大学仏教学部仏教学科教授。2021年4月から現職。専門は仏教学。日本印度学仏教学会賞、浄土宗学術賞を受賞。



教職協働のあり方を示唆するものだと思います。個人的には、学生を教室から解放できる遠隔授業には未来志向的な可能性を感じました。一方、コロナ禍のなか、学生間の交流が途絶え、学生コミュニティが形成されにくくなるなどの問題も生じています。学生コミュニティの再生は本学にとって喫緊の課題です。

伊藤 コロナに罹患し、仕事が続けられなくなった親御さんもおられたし、学生もアルバイトができなくなった。これまでにない状況で、困窮した学生に緊急支援が必要でした。

山極 オンライン化により、学生はパソコンを用意したり、通信環境を整えたりする必要が生じました。お金を出せばそれで解決するという単純な問題ではありませんでした。



斉藤 2020年度新入生はパソコンや通信環境を整えるのに苦労した学年です。下宿生は通信環境が整う前に移動自粛と遠隔授業となった学生も多くいました。自宅生でも家族共有のパソコンだと、親や兄弟、

佛大の底力は相当なもの

伊藤 通信教育課程は、生涯学習部が感染拡大をいち早く見通し、Web会議ツールZoomを導入して、対面スクーリングをオンライン化しました。通信教育課程のオンライン化は通学課程の遠隔授業促進のアドバンテージになったのではないのでしょうか。Zoomに対し、使いもせずに勝手な苦手意識をもっていました。いが活用すると操作は容易であり、さまざまな教育上の可能性を感じ活用しました。多くの教員と情報共有や議論をして、内容もアップデートしていきました。始める前から苦手意識や先入観をもつことが、いかに活動を狭め



山極 大学内の会議や外部の方との打ち合わせも一気にオンラインになりました。よい面も悪い面もありますが、「これでしかできません」という思い込みが壊れ、新しいスタイルを生み出すなど、得たものも多かったですね。

伊藤 免許・資格取得に関わる実習は、実習先の医療機関や学校、博物館などの理解や担当教員、事務局の尽力があり、継続すること

※1 BYOD(Bring Your Own Device) 個人が所有しているパソコンやスマートフォンを業務に使う利用形態を指す。

※2 LMS(Learning Management System) インターネットやパソコン、スマートフォンで学修するeラーニングを実施する際のベースとなるシステム。

ができました。学生もワークシブな環境や自主隔離など、実習先のコロナ対応に基づく受け入れ条件を遵守しました。相当な努力を要したと思います。フィールドワーク系科目は移動自粛のなか、その運営は大変でした。調査先とオンライン中継するなど、担当教員がさまざまな工夫をし、学生にその魅力などを伝えようとしてきました。当然、フィールドに行けないことから、現地の人々との交流が十分にできないなどの問題もあり、フィールドワーク系科目と遠隔授業の融合には大きな課題が残りました。

「遠慮」の心で乗り越えた自信を未来に生かす

山極 コンパクトなキャンパスで育まれた親密なコミュニティや、教員との距離感の近さが作り上げるメンタリティーが本学の特徴の一つ。そのキャンパス生活を奪われた学生はさぞ苦しかったでしょう。だからこそ今の4年生は人と人とのつながりを新鮮に感じている。先が見えない中で黙々と頑張った経験をポジ



伊藤 時間や距離を飛び越えた授業で教育効果を高める可能性がオンラインで開けました。一方で同じ空間、同じ時間を共有し、先生がお話しされる語気や熱量、語感も含めたものすべてが

山極 心理や福祉や保健医療など、人と人を通してしか学べない分野があります。実習にはワクチン接種や抗原検査が必須で、検査費用は大学でサポート。一番大変だったのは約3000人が受けたワクチンの職域接種を本学で実施したことでした。医師や看護師の資



タイプにとらえられるよう、触れ合いの機会を提供していききたいと思います。伊藤 4年生は入学当初からコロナ禍で、新入生は高校時代をコロナ禍のなか過ごした世代となります。4年生は1年生から「課題地獄」と報道されたほど、コロナ禍のなか、多くの課題をこなしてきました。そのため、文章表現や読解力は相当高いと考えています。新入生をはじめ、2年生も3年生も、高校生のおり、運動会や文化祭、修学旅行などの諸行事が中止されるなどしています。制約に耐えて頼もしさを増した学生

たちから、新しいカルチャーが生まれるんじゃないか、と期待しています。伊藤 法然上人の教えに「遠慮おんりょがあります。それは目の前に起きるさまざまな出来事に対し、自分の力で何ができるかを、自分と向きあって考えることです。コロナ禍を経験した学生は、その中で自分ができることをやって今があるし、今後もそういう力が自分の中にあるという自信を持ってほしい。コロナ禍を乗り越えた自信は5年後、10年後、50年後にどこかで必ず役に立ちます。

今日の授業

「ヒントは接続表現にあり！」

この日は、文章の読解に重点を置いた時間。多彩なメディアを題材に、稲永先生は「事実を積み上げて正確さを高める」「あいまいな表現で逃げない」「主観で書かない」といったレポートの書き方「虎の巻」を伝えていく。

新書の一節を用いた課題で学生に求めたのは、「重要となる文を3つ抜き出す」こと。著者が最も言いたい部分、結論的な箇所を解読してみようというわけだ。学生が列挙した文を肯定しながら、先生はポイントを伝える。「冒頭と最後を見て、同じ内容が語られていたら、そこは重要な部分です」。前半で問題提起された事柄が、後半で再び登場し解決・回収されている。それが見つけ出せれば、解読成功だ。さらに先生はもっと決定的な鍵を示す。接続表現だ。「つまり」や「要するに」といった言葉に注目しましょう。これらには文をまとめる役割があり、結論の前に用いられる場合が多い。洋書の和訳でも同様に、「or」や「so that」などの接続詞について指摘。「文章読解の重要な言葉であると同時に、レポートを書く際のキーワードです」



学生の一人でアメリカ留学に夢を馳せる西村一輝さんは「英語の和訳が難しい」と苦笑しながらも次々に繰り出される課題を「モチベーションになっている」と語る。稲永先生と同じ巨人ファンで、将来はプロ野球の球団で働きたいと話す日野華音さんは「先生の授業を受けて、本や文章の読み方が変わりました。ポイントが理解できるようになってきた」と、成長を実感している様子だった。

B-ism

2023
July

うだ。その後も10〜15分おきに、どんどん新しい課題を提示していく稲永先生。「学校制服の廃止に賛成か反対か」の意見を求めたり、間隙をぬって「おすすめの書籍」を紹介したりと、緩急織り交ぜた進行を見せる。「同じことばかりだと、集中力が落ちませんかからね。一見せわしなく映るが、その分単調にならずに、良い緊張感を保てるというわけだ。」



与える課題にも特色がある。「英文の和訳」もその一つ。「著名な社会言語学者が編纂した洋書をテキストトにしています」。英米学

科とはいえ「日本語表現」の授業で英文を扱うのは珍しいのだが、稲永先生の意図は至ってシンプル。「英語力はもちろん、正確に和訳することで日本語力のアップにもつながります」また、課題の提示や回答

の提出にデジタルツールを多用するのも特長だ。先生の授業の創意工夫には定評があり、2022年に行ったオンライン授業「英語と英米文化」は、「オンライン教育のモデルとなる質の高い授業」として、学内で表彰された。「何が評価されたのか分からないのですが……」と謙遜するが、テキスト用のパワーポイントへの音声の付加や、指定する映画を見てもらったうえで課題にチャレンジしてもらうなどの施策は、オンライン授業に新たな可能性を与えるものだった。「課題や宿題が多くて大



言葉の大切さに気づく、ユニークな90分
伝わるレポートを書くための基礎学習

文学部 英米学科 准教授

稲永 知世

稲永 知世 (いねなが ともよ) 大阪府立大学総合科学部卒業後、大学院人間社会学研究科言語文化専攻言語情報学分野博士後期課程単位取得退学。北陸大学、帝塚山大学、滋賀大学などで非常勤講師を務め、2016年に佛教大学文学部英米学科に特別任用教員(講師)として着任。2019年から准教授を務める。専門は談話分析。主な論文に「ディズニー映画『ズートピア』における境界線の役割—ディストピア性を暗示する境界線」(2023年)、共著に「ディスコース分析の実践—メディアが作る「現実」を明らかにする—」(くろしお出版、2016年)など。



大学生の宿命とも言うべき「レポート」。授業や研究を経て、自身の見解を論理的に著すものだ。とはいえ、新入生が書き方に不安を覚えるのは当然のこと。そこで佛教大学では、1年生を対象にしたレポートのイロハに関する授業を実施している。英米学科の「専門学修のための日本語表現」もその一つ。担当する稲永知世先生が個性的だ。

授業中の稲永先生は、とにかくよく動く。教壇で設問を読み上げていたかと思えば、次の瞬間には思案する学生のそばへ。90分の間に何度も繰り返し返される教壇と学生間の往復に、当の先生は「学生の席に行くのは、質問を受けるため」と事もなげに答える。これも「レポートの書き方を学ぶ時間」でありながら、学生から「ユニーク」と言われる稲永流授業の一端だ。

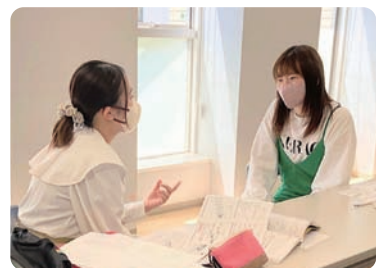


まず、使用するテキストがユニークだ。ベースになる書籍に始まり、新書や文庫本、新聞記事、さらには手製の設問など、稲永先生の用意する教材はバラエティーに富む。学生は先生が厳選した文章を読み、「書き手が伝えたい本質」を見つけていく。「多様な表現に触れることで、読み手に正しく伝わるレポートの書き方を、多面的かつ体系的に習得してもらいたい。今後はマンガや映画も教材にする予定だ。」



佛大生記者が書く！

保健師課程の授業風景



◆ 保健指導・コーチング

睡眠不足や食生活の乱れなど、なんらかの健康課題を抱える対象者役と、それに対して保健指導を行う保健師役に分かれ、ロールプレイを行います。これを通して、保健師役は対象者との関わり方の難しさを実感し、対象者役は実際の対象者の気持ちや生活の背景を想像することができます。



◆ プレゼン

4月～5月に同じ保健師課程学生と共有したい健康に関する話題を、各自で調べてプレゼンテーションを行います。準備、司会などを全て学生で行い、発表中には聞き手が分かりやすいように発表を工夫し、積極的に質疑応答を行うことで、保健師になった際に活用できるスキルを高めます。



◆ 地域診断・地区踏査

地区踏査では、中京区を実際に自転車で見て回り、地域の街並みや住んでいる人々を観察し分析します。実際に地域に暮らす人のお話を聞き、地域の人々のつながりを強く感じました。大変なことも多いですが、グループみんなで仲良くやっています。



◆ HUG (避難所運営ゲーム)

昨年、地震の発災72時間以内の避難所対応について学習しました。今回演習をしたことで、発災時に保健師はどのような役割があるのか、またどのようなことが起こりうるのかをイメージすることができました。一度HUGを経験することで、実際に災害が起こったとき焦らず対応できるのではないかと感じました。



◆ 健康教育

昨年は3グループに分かれて「20歳代女性の貧血」「腰痛予防」「歯周病」をテーマに保健師課程学生15名、先生方を対象者として発表しました。発表準備をした時には、対象者に合わせたテーマ選びや、聞いている人が楽しめるよう双方向に関わることを工夫し、頑張ってきた分達成感がありました。



◆ 家庭訪問

保健師の大切な活動の一つ、家庭訪問の演習を行います。演習では家庭訪問における展開方法の実際を学ぶことを目的として、グループごとに作成した計画をもとに自宅を再現した演習室にて、シミュレーションをしながら学びを深めています。



地域診断で行った地区踏査

地区踏査の出発前

HUG(避難所運営ゲームの様子)

健康教育の様子

保健医療技術学部看護学科保健師課程の学生です。保健師課程では、3年、4年の2年間で授業、演習、実習を通して住民の生活と健康を守る保健師活動を学んでいます。その中でも、今回は地域診断・地区踏査、健康教育、家庭訪問、プレゼン、保健指導・コーチング、HUGについて紹介していきます。

4年生から

保健師課程は、看護師国家試験に加えて保健師国家試験に向けて勉強しています。授業や課題も多く大変ですが、15名と少人数であるため、常に助け合いながら乗り越えています。発表する機会も多くあり、緊張もしますが、仲間と頑張る分充実感があります。



田中日奈子 心山聡子

3年生から

保健師課程では、地域診断などでパソコンを使う機会が多く、パソコンのスキルアップにつながります。保健師課程は課題も多く、1限からの授業が多いため、看護師課程の科目との両立が大変ですが、保健師課程3年生14人はみんなで励まし合い、仲良く頑張っています。地域の人に寄り添うことができる保健師を目指します。



大岡里緒 橋本那月

なうな掌話 その二十九

編集後記

今回の作成によって、改めて保健師課程で多くの学びを得ていることがわかりました。今後も素敵な保健師を目指して仲間たちと学びを深めていきたいと思えます。



堀 大介(ほり だいすけ)
1973年福井県生まれ。1996年に同志社大学文学部を卒業し、同大学院文学研究科博士課程に進学。2001年、福井県朝日町(現・越前町)教育委員会に学芸員として採用される。2008年、「地域政権の考古学的研究 古墳成り期の北陸を舞台として」で博士号を取得(文化史学)。越前町織田文化歴史館館長補佐などを経て、2021年から現職。2022年に「考古学に立脚した古代地域史像及び初期神仏習合・白山信仰史の学際的研究」で第34回濱田青陵賞を受賞した。著書に『地域政権の考古学的研究 古墳成り期の北陸を舞台として』(雄山閣、2009年)、『泰澄和尚と古代越知山・白山信仰』(雄山閣、2018年)、『古代敦賀の神々と国家 古墳の展開から神仏習合の成立まで』(雄山閣、2019年)などがある。

中2で考古学者を目指す
福井県鯖江市で生まれ育った。「中学2年の夏でした。偶然手にした本に『邪馬台国が鯖江にあった』と書いてあり、考古学者になって邪馬台国の研究をしようと思った」といふように決まりました。

進学した同志社大学では、著名な考古学者、森浩一教授(故人)に師事する一方、奈良県の橿原考古学研究所にアルバイトに通い続けた。「とにかく奈良で発掘がしたかったんです。邪馬台国の候補地とされる纏向遺跡や、卑弥呼の墓との説もある箸墓古墳の周辺調査に携わりました」
そのまま橿原考古学研究所に就職したいと思っただけで、大学院生の時の1本の電話が人生を変えた。

白山信仰をテーマに卒論を書くため、福井県の遺跡に行っていた学部4年の後輩からだった。「泰澄が亡くなった場所で須恵器(青灰色の焼物)を拾ったんです。すごいですよ」。興味をひかれ、翌年から研究室の仲間たちと現地を調査を始めた。



福井で培った学問スタイル
調査をするうちに「この発掘調査がしたい」という思いが強くなり、現地の朝日町(現・越前町)の学芸員に就いた。佛教大学に移るまでの20年間、さまざま

所を回ったのも学芸員の時代。「森先生の教えもあり、必ず現地に行くようにしていました。文献を読むだけでは歴史は分かりません。現地に行き、そこから見える風景が大切です」
「神仏習合」と「継体天皇」の謎に迫る
今は、神仏習合と継体天皇という二つの謎を追う。神仏習合は、日本にもともとある神と外来宗教である仏教とを結びつけた信仰のことだ。「泰澄が修行をしていた大谷寺から、『神』と書かれた土器が出てきました。『寺なのになぜ?』と興味を持ちました」
泰澄は神仏習合の祖とも言われる。修行をした越知山の麓の剣神社には国宝の鐘があり、境内の発掘調査をすると寺の跡が出てきた。現在知られる神宮寺(神社の中の寺)で最も古く、神仏習合の発祥地の可能性がある。「日本はいろいろなもの

泰澄の伝承地800カ所を巡る
弥生から古墳時代にかけての国家形成や、神仏習合など宗教の歴史をテーマに研究を続ける。その魅力を尋ねると、「謎解きしかないですね」と即答した。
取り組んだ謎解きの一つに、「奈良時代の高僧・泰澄は実在したのか?」という謎がある。泰澄は日本三

名山の一つ、石川・岐阜両県にまたがる白山を開山したと伝わる。しかし、実在する人物かどうかは意見が分かれていた。
「泰澄の名は正史に登場しません。また、泰澄の生涯を記した『泰澄和尚伝記』は後の時代の要素を含むため、創作と言われている」ところが、泰澄が亡く

なるとされる大谷寺の裏山(福井県越前町)を発掘すると、遺構や土器が出土し、山林寺院だとわかった。「大谷」と記された墨書土器もあり、伝記に出てくる地は確かに存在していたのだ。
堀先生はさらに、全国から泰澄の伝承を集め、長崎県から山形県まで800カ所以上を回った。「泰澄が

開いたとされる山に登り、その多くで奈良や平安時代の土器を拾いました。あると思って探すと見つかりません。一つでもあれば、山の上にその当時、誰かがいたことになる。泰澄のような山林修行者と考えられます」
泰澄の最初の修行地「坂本岩屋」と考えられる場所も確認した。落差20メートルの滝の真横に洞窟があり、中で土器のかけらを見つけた。伝記の描写の通り、座禅ができる平たい岩もある。「現地を知らないといふのには書けません。伝記が全くの創作ではないことを示しています」と説明する。
幅広い研究手法が評価される
複数ある伝記の写本も詳しく調査した。写本同士を比べると、表現の違いなどからどちらが古いか分かる。調べた結果、伝記の中に古い要素と新しい要素が

を融合する文化ですよね。その意味で、神宮寺というのは非常に日本的です。初期の神宮寺が北陸など一部地域だけで建てられたのか、それとも他の地域でも現れたのかについて考古学的に検証しています」
一方、継体天皇は日本書紀や古事記に多く記されているものの、非常に謎が多い。「天皇の跡継ぎがいなくなり、応神天皇の5代後とされる人物(後の継体天皇)を越前から迎え入れたと書いてあります。5代後だなんて、おかしな話ですよ。しかも、なかなか大和に入れませんでした。もともとあった王家を乗っ取り、新王朝を築いたという説もあります」
さまざま手法を駆使し、継体天皇の人物像を解き明かそうとしている。「研究は6〜7回目まで来ましたが、謎が解けたら、すごいことです。期待してください」。目を輝かせ、そう語った。

「歴史の現場を訪ね、謎を解き明かす」

伝説の高僧・泰澄や継体天皇の実像を求めて

歴史学部 歴史文化学科 教授

堀 大介



日本の歴史には数々の謎が存在する。邪馬台国はどこにあったのか。伝説の高僧・泰澄は実在したのか。越前(福井県)から迎え入れられた第26代継体天皇はどのような人物なのか。堀大介先生は、考古学にとどまらないあらゆる方法を用いて、これらの謎の解明に挑む。

混在している可能性に思い至った。
「泰澄より後の時代にいちから創作されたにしては、おもしろい記述がたくさんあります。伝記の原型が10世紀に成立し、さまざまな要素が段階的に加筆されて現在の伝記になったと考えるとうまく説明できます」
この他にもさまざまな証拠を集め、「泰澄は実在したのではないか」という結論に達した。
特筆すべきは、ユニークな学問スタイルだ。2022年に受賞した濱田青陵賞では「単に考古学的研究の緻密さや考古学と文献史学の総合には止まらない、学際的で広い研究領域(宗教学、文化史や仏教美術史、国文学)にまで果敢に踏み込んでいく点」が高く評価された。
これについて、堀先生は「謎を解き明かす目的のために、やれることは何でもやっただけです」と淡々と話す。



楊 韜 (YANG, Tao)

1978年、中国・長沙市生まれ。札幌大学卒業、名古屋大学大学院修了、博士（学術）。著書に『近代中国における知識人・メディア・ナショナリズム：鄧韜奮と生活書店をめぐる』（汲古書院、2015年）、『モダン・空間・異文化：東アジアの広告文化論』（朋友書店、2016年）、『メディアというプリズム：映し出す中国・日本・台湾の歴史と社会』（晃洋書房、2018年）、『台湾メディアと日本：『日本へのまなざし』はどのように生み出されているのか』（共編著、晃洋書房、2020年）、『重畳たるタクティクス：日中戦争期の話劇をめぐる』（汲古書院、2022年）ほか。

先生のお気に入り favorite

書道作品 「韜光養晦」

第二十四回 楊韜先生の巻

文学部 中国学科 教授

「とうこうようかい」



ゼミ生の筆による書は
自分の名前の由来であり
大切にしている言葉

2016年に卒業したゼミ生の書道作品「韜光養晦」を研究室に飾っています。あまり耳慣れない言葉ですが、中国語で「才能を隠して、内に力を蓄える」という意味で、「能ある鷹は爪を隠す」と同義です。1980年代に鄧小平が掲げた中国政府の外交政策のスローガンとしても知られていました。もともと昔からある言葉で、「韜」は太刀袋、「光」は人の才能や名声などのたとえです。威張らず謙虚な心の持ち主に…との親の願いを込めてつけられた私の名前の由来でもあります。

この書を書いた堀井紫帆さんは、3年生のときに「全日本書初め大展覽会」で「東京都知事賞」を受賞するなど書道部のエースでした。

私が中国書道関連書を見るのも好きなので、書について語り合ったり、部活の様子をのぞかせてもらったりしたこともあり、素晴らしい活動をしているなと感じています。



「謙虚な心」を持ち続け、自分と環境の異なる人の話にもよく耳を傾け、素直な態度で接したいねと話しています。堀井さんには卒業以来お会いしていませんが、今も書道が続けているなら、進化した作品を拝見したいものです。



コロナ禍を経て、ようやく活動再開

今回のクラブ・サークル見聞録は体育会、文化会、報道本部の各代表が、コロナ時代を振り返りつつ、今後の活動への意気込みを語ってくれました。

報道本部

報道本部は放送局と新聞局から構成されています。コロナ禍での活動状況は厳しく、放送局では本来昼休みに、防音装置が施された部屋からラジオ放送をしていたのですが、大教室でマスクをつけて収録するなど、全く異なる環境での対応を迫られました。新聞局もほとんど活動できない状態でした。

ようやくコロナの影響が薄くなり、報道本部が今後すべきことは何かと改めて話し合うようになりました。今考えているのは、一つは放送局と新聞局との交流を深め、共同で発信する機会を増やして、より質の高い報道をしていくこと。もう一つは、在学生がもっと佛教大学について知るために、報道本部がお手伝いしていきたいということです。

私が所属する放送局では、従来は伝えたい情報に雑音が目立たないよう、極力静かなところで放送しようと努力してきたのですが、試験的に電車の中で収録しました。走行音や鳥のさえずりを交えた放送は想像以上に楽しくて、リスナーからも好評でした。他にも新スタイルの放送ができるのではと、部員たちと目下アイデアを出し合っています。

谷口紫祐さん



文化会本部

文化会の会長に就任した時は、各団体の代表が集まる月例会すら開催できない状態で、「これからどうしよう」と不安がいっぱいでした。アドリブの楽しさに魅せられて入部したジャズ倶楽部も、コロナ禍ではセッションができません。そこで「今はレパートリー拡充の時期」と発想を転換し、J-POPなど普段は演奏しないジャンルにも挑戦しました。プロの音源を聴き、楽譜に触れるなど、演奏以外の方法でジャズの理解に努めました。それだけに、コロナの流行が収まり、友人たちと一緒に練習ができるようになった時には、音楽の楽しさを心から感じる事ができました。

文化会もようやく本格的な活動ができるようになり、新入生歓迎イベントの準備を整えています。また、佛教大学の多様な団体が連携し、ジャンルやスタイルを超えて楽しめる催しを増やしていきたいと思っています。今こそ古い伝統を復活させ、新しいことに挑戦するいい機会と捉えています。例えば、かつて佛大ロックというイベントがあったそうですが、私たちの手で新しい佛大ロックをスタートさせたいですね。

藪下まこさん



体育会本部

新型コロナウイルスの影響が最も強かった時期の直後、体育会の会長になりました。体育会の活動がほぼ休止していたので、右も左も分からない状態でスタートしましたが、今は共同開催するイベントを増やして、コロナ前よりも団体同士の交流を深めていきたいと考えています。長らく中止していた新入部員対象のフレッシュマンキャンプや、各団体の代表が交流・研修を行うリーダーズキャンプも再開できる見込みです。下級生に課外活動を続ける楽しさを味わってもらえるようサポートしたいと思っています。

コロナ禍での太道部の活動は緊急事態宣言が発令されると休止、事態が収まると再開の繰り返しでした。この間、部員は各自が家で一人突きや蹴りなどの技を動画で撮影・送信し、先輩に見てもらってアドバイスをもらうというスタイルで稽古を続けました。私は元々体を鍛えるのが好きで、実はコロナ禍にあってもモチベーションが下がるとはありませんでした。ただ、仲間や先輩から常にSNSなどで連絡が入るので、気にかけていることへの感謝の思いは、通常時よりも強く感じました。

伊藤太一さん



Hello!!

クラブ・サークル見聞録

Special

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、佛教大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は（あれこれ）を部員が自ら紹介、語ってくれます。



パラ競技の楽しさを追求
自ら選んだ道はあきらめない

教育学部 臨床心理学科 3年生
藤原 芽花さん

スポーツ大好き少女が、車いすハンドボールでも大活躍

巧みな車いす操作でパスやシュートを繰り返す。その迫力とスピード感に歓声と拍手が上がる。

5月20日、紫野キャンパス鷹陵館のメインホールに、国内屈指の車いすハンドボールプレーヤーが集結。ハンドボール部所属、車いすハンドボール日本代表選手でもある藤原芽花さんもその中にいた。一般社団法人Knocku(ノックウ)が主催する「車いすハンドボール体験&観戦会 in 佛教大学」は、藤原さんの提案から実現したものだ。「私は橋渡しをしたにすぎません。大学に相談したらほとんどん拍子で開催の運びに。イベント当日も、不要な椅子が片づけられていたり、更衣室を広く用意してくださったり、全面的なサポートに感謝と誇らしい気持ちでいっぱいです」

藤原さんは小学、中学でサッカー、高校ではハンドボールに打ち込み、華麗なる戦績を残している。しかし大学ハンドボール部の練習中に転倒して椎間板ヘルニアを再発。手術成功後はリハビリに励んでいたが、本人の意思に関係なく手足が動く不随意運動という別の症状が現れ、転院や検査を経て、車いす生活が始まったという。「今も発症の原因は不明です。当初は、い



ずれ歩けるようになると思っていたくらい」と屈託のない笑顔で話す。

パラアイスホッケーの国際競技大会で交流の輪が広がった

「退院したら何かスポーツをやりたい。じゃあ車いす競技かな」と、初参加した車いすハンドボールの体験会が楽しくて、その縁でパラアイスホッケーを紹介され、車いすバスケットボールのおもしろさにもハマリ、全部続けることに。特に2022年4月から始めたパラアイスホッケーは、8月の「Para Ice Hockey Women's World Challenge」でワールドチームの副キャプテンとして銅メダル獲得に貢献。圧巻の身体能力と求心力である。その活躍が評価され、大学スポーツ協会(UNIVAS)の「パラアスリート・オブ・ザ・イヤー」優秀賞や、「京都府スポーツ賞」優秀賞を受賞。「大きな出来事を通して、世界の人たちがつながり輪が広がっていることが私にとって財産です」。先日はノルウェーの友人が京都に遊びに来たとうれしそうに話す。

パラアスリートとしてだけでなく、臨床心理士の道も叶えたいと前を向く。もともと「心どこか違和感をもつ人の居場所をつくりたい」と考え、臨床心理学を学ぶために佛教大学に入学した。小学生のとき、男子サッカーチームの中で女子はひとりだけ。「グレイゾーン」な存在として複雑な思いを抱いたのが原点だ。「先生が『うちの学科は教育の育、育む』ほうです。曖昧で答えのない学問だからこそ一緒に探究しましょう」と話してくれたのが印象に残っています。車いす生活になり心境の変化は、と尋ねると、「よく聞かれる質問ですが、今たまたま車いすにのっているだけで、20歳までの藤原芽花も、21歳以降の藤原芽花もおんなじ。気持ちは何も変わらないのがうれしくて。これからも楽しいことをたくさん経験したいし、自らやりたいと選んだことはすべて成し遂げたいです」



広瀬 穰治(ひろせ しじゅう)
1978年滋賀県生まれ。2001年に佛教大学社会学部応用社会学科卒業後、大手呉服グループに入社。2005年、ドリームビジョン株式会社(現・夢展望株式会社)に転職し、ECサイト運営に携わる。2010年に株式会社伊藤久右衛門入社。企画室主任や事業統括本部本部長などを経て、2017年専務取締役就任。2022年から現職。座右の銘は「凡事徹底」。「仕事が趣味」だが、スキーや食べ歩きも好き。

卒業後、接客やECサイト運営に従事

天保3(1832)年創業、宇治市に本社と本店を構える株式会社伊藤久右衛門は、抹茶スイーツの開発やインターネット販売を展開しながら、新しい宇治茶の在り方の探求を続けている。その旗振り役を務めるのが広瀬穰治さんだ。

新設学科に惹かれ入学した佛教大学では、柏熊路子先生のもとで社会心理学を学び、スキーサークルで活動するなど充実した4年間を過ごした。「とにかく人数が多く、にぎやかでした。私は毎シーズン、スキー場でアルパイトしながらスキーさんまの冬を過ごしました。学生時代の懐かしい思い出です」

卒業後は大手呉服グループに入社し、接客販売や店舗マネジメントの楽しさを覚え、着物の職人・作家さんの

技や心意気に触れた。しかし、実店舗での小売業だけでなくネットビジネスに興味を湧き、転職を決意。当時、日本のビジネスモデルになったアパレルECブランドのベンチャー企業の立ち上げに参加。神的通販サイトと呼ばれるまで成長を遂げたのは、広瀬さんの経験と知識が大きな推進力となったに間違いはない。

創業家一族外で初の代表取締役に



伊藤久右衛門は業界に先駆けてネット販売に着手していた。先見の明で飛躍的な売上拡大に導いた前社長の北村公司氏(現会長)とはEC事業者交流会で知り合った。「当時、組織のデータ管理の重要性が高まっており、私の得意分野として相談を受けるうちに入社することになりました」

業家一族で代々営まれてきた「家業」を、いわば宇治茶の門外漢だった広瀬さんが引き継ぐことに。大抜擢である。「レッスンチャーもありましたが、よくそんな面白い舵取りをするなあ」が第一印象だったと笑う。

「宇治茶を完成形ではなく未完成のものど捉え、可能性を拡げてきた自負がわが社にはあります」。スイーツをはじめ、お酒、カレー、パスタ……と良質な抹茶の風味を引き出した商品開発力は最大の強み。急須で淹れるスタイルだけでなく、多様なライフスタイルに合わせてユニークな感覚を取り入れる。「今後は食品以外の商品開発にも力を入れたいし、海外事業にも再挑戦したい。2025年の大阪・関西万博は商機と考えています」

佛教大学で学んだ、社会情勢と密接にリンクする人の行動心理が役立っているという。「20代はやりたいことを優先するよりも『できること』を増やし、30、40代になって本心にやりたいことに向き合うほうが、成功率も高まると思います。チャレンジできる会社を選んでほしい」。時流を読み、目の前の課題に専心してきた広瀬さんだからこそ、説得力のある仕事観であり後輩へのメッセージだ。

Listen UP

「宇治茶」の在り方を探求し続け、その可能性を広げていきたい

株式会社伊藤久右衛門 代表取締役社長

広瀬 穰治さん

佛教大学 社会学部 応用社会学科卒業

※1:2020年11月発足。障害のある人もない人もともに参加できるパラスポーツのイベントやコミュニティ、パラスポーツを通じて「共生社会」を理解するための教育プログラムを運営

70年間にわたり生涯学習の場を提供 コロナ禍を契機に教育を見直し、未来へ向かう

副学長兼生涯学習機構長
歴史学部 歴史学科

貝英幸 教授



の受講者数は今春、延べ6万人を突破しました。

近年、デジタル化など社会の変化が加速し、学び直し(リカレント教育)やスキルの習得(リスキリング)が社会人に求められています。貝機構長は「従来からリカレント教育やリスキリングを担ってきた通信教育課程とO.L.C.の重要性が増しています」と説明します。

本学の生涯学習機構は、通信教育課程とオープンラーニングセンター(O.L.C.)を開設し、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に生涯学習の場を提供しています。コロナ禍を経て、これらの学びの場はどのように変わるのでしょうか。生涯学習機構長の貝英幸教授に聞きました。

「コロナ禍で『遠隔』を見直し…」

本学は70年前に通信教育課程を開設し、実績を積み重ねてきました。さらに、2021年にスタートしたO.L.C.は前身の四条センター時代も含め約40年の歴史があり、現在は年間600以上の講座を開講しています。O.L.C.

した。今後、学生が選択できる方向に進める方針です」

通信教育課程も変化が必要

研究や学習の世界でデジタル化が進む現実にも改めて気付かされました。机に向かわなくても、スマホやタブレットがあれば学習ができます。かつては図書館のカードボックスで資料を見つけ、コピーをしていましたが、今はネットが使えれば、どこにいても検索と入手ができます。デジタル化によって、「いつでも、どこでも、だれでも」という理念が実現しやすくなりました。

「ただ、通信教育課程は年配の方も多いです。ネットの使い方を通信教育で教えていて、パソコン教室を開いているように感じることもあります。デジタルが苦手な人には配慮が必要です」

若い世代を中心に学生にも変化がみられます。「テキストをじっくり読んでそこから何かを得て、自分の考えとしてレポートにまとめることが苦手になっている傾向があります。通信教育課程は約8割



をテキスト履修が占めますが、動画も併用する形にシフトするのは避けられません」

「今の学生が求めるものと、我々が培ってきたものをどうミックスさせるか、模索する必要があります。例えば、通信教育課程と通学課程がシームレスになり、留学する1年間だけ通信教育課程で学ぶというように、必要に応じて選択できるのいいと思います。人は常に学び続けることが大切です。学んでもらいたいように、柔軟に変化していくことを考えています」

1

卒業式

3/18

一堂に会して 卒業式・入学式挙行

「令和4年度学位記・卒業証書ならびに修了証書授与式」が挙行されました。4年ぶりに鷹陵館メインホールにて学部・研究科ごとに午前・午後の二部制で実施し、保護者や在学生には本学公式YouTubeチャンネルのライブ中継をご覧いただきました。

学部卒業生1442名、大学院修了生40名、別科(仏教専修)修了生6名が巣立ちました。



入学式

4/1

「令和5年度入学宣誓式」が挙行されました。今年度は4年ぶりに新入生ならびに保護者の方々が鷹陵館メインホールに集まり、学部・研究科ごとに午前・午後の二部制で実施しました。新入生1608名の希望がスタートしました。

2

紫櫻祭開催

「ようこそ!!! みんなの個性でキャンパスを盛り上げよう」

満開の桜の下、少し戸惑いながらもコロナ禍を吹き飛ばすような、ハツラツとした笑顔に溢れたキャンパス。さあ、これらのキャンパスライフが楽しみです。



B-ism

2023 July

陸上競技部女子中長距離部門 大会出場予定(8月~12月) 6

- 9月14日(木)~17日(日)
天皇賜盃 第92回 日本学生陸上競技対校選手権大会
(全日本インカレ)
▶会場:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉県)
- 9月23日(土・祝)
第33回 関西学生対校女子駅伝競走大会
▶会場:神戸しあわせの村(兵庫県)
- 10月29日(日)
第41回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会
▶会場:弘進ゴムアスリートパーク仙台~仙台市役所前
市民広場(宮城県)
- 12月30日(土)
2023 全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)
▶会場:富士山本宮浅間大社前~富士総合運動公園陸上
競技場(静岡県)

皆様からのご声援をよろしく
お願いします!



修学旅行の中学生が紫野キャンパスを体験 5



5月19日、静岡県富士市立吉原第二中学校の3年生171名が、午前と午後の2グループに分かれて来学されました。あいにくの雨天ではありましたが、教育学科の小林隆教授や月岡卓也教授と、そのゼミ生たちとの交流の中で学ぶ楽しさを実感し、生徒たちは「大学でぜひ学びたい」と目を輝かせていました。

また、佛敎大学ならではの思い出に残る体験として、小野数珠店様のご協力を得て数珠作りをしました。色とりどりの珠に糸を通し、思い通りの素敵な数珠が出来上がった時には満面の笑みを浮かべていました。本学出発の際には明るい未来を思い描く姿が見られました。



硬式野球部に新監督が着任 7



平成28年より7年間、監督としてチームを率い、その間8回のリーグ優勝。全日本大学野球選手権においては令和元年準優勝、令和4年ベスト4。令和3年明治神宮野球大会ベスト8の輝かしい戦績を残された田原完行氏が今春総監督に就任。平成25年よりコーチとして、部員に寄り添いながら指導をしてこられた國友健一氏が後任として監督に就任されました。

國友新監督は本学硬式野球部の出身。社会人野球チームを経て本学硬式野球部のコーチを務められました。これまで培われた経験をもとに、部員たちの成長とともに、さらなる高みを目指していただけることと思います。皆様の応援をよろしくお願いたします。

B-ism
2023
July

延べ受講者数、まもなく10万人! オープンラーニングセンター(O.L.C.) 3

佛敎大学オープンラーニングセンター(略称O.L.C.)は、シティーキャンパスとして親しまれた四条センター(1984年に開設)を前身として2021年4月に開設されました。

現在、年間600以上の講座を提供し、受講方法も対面とオンラインを併用したハイフレックス型の講座を中心として、オンデマンド講座、対面だけの講座などの形態を設けています。開設して3年目を迎える今年、受講者の延べ人数がまもなく10万人を突破

「あなたが決めた日、その日がスタート」。生涯学習の機会、また専門職のキャリアアップの機会として、今後ますます発展していくO.L.C.の講座を、ぜひ体験してみてください。

体験はこちら ▶▶▶
YouTube公開中



6万人突破記念 人気3講座無料公開中
(会員登録が必要です。ビジター登録してください)



講座申込はこちら ▶▶▶



ハワイ大学マノア校との交流再開 4



6月6日から4日間、米国ハワイ大学マノア校の教育学部の学生、教員あわせて22名が紫野キャンパスや附属こども園などに来訪され、授業参観や意見交換会など本学の教育学部学生や教職員と交流をしました。

両校の間で締結している学術交流協定により、毎年開催してきた交流も4年ぶりに実施され、あわせて学術会議の再開に向けた検討も行いました。



教員・職員

新規採用者紹介

教員は学科と専門を、職員は所属を表記
※特別任用教員は学科表記なし

NEW FACE

歴史学部

駒井 匠 講師
歴史学科
日本古代史

苦名 悠 講師
歴史文化学科
日本美術史

杉本 均 教授
幼児教育学科
比較教育学

教育学部

堤 拓也 (特別任用教員) 講師
社会教育・生涯学習論、福祉教育・ボランティア学習論

保健医療技術学部

和智 道生 講師
理学療法学科
スポーツ理学療法

伊佐次 優一 助教
理学療法学科
理学療法

奥野 隆司 助教
作業療法学科
作業療法学

職員

国本 龍弥
生涯学習部
通信学務課

小林 咲季
教育推進部
学務課

谷口 葉菜
生涯学習部
通信学生課

田畑 瑛士
学長室広報課

堂上 奈々美
総務部人事課

野口 卓
進路支援部
進路就職課

教職支援センター

川高 寿賀子 実習指導講師
特別支援教育

辻本 長一 実習指導講師
中学校教育

山本 直樹 実習指導講師
初等教育、地域社会教育、キャリア教育

八田 美緒 教諭
附属こども園

2023年度
新学部長

教育学部
小林 隆 教授(新任)

社会福祉学部
堀江典子 教授(新任)

社会福祉学部
藤松素子 教授(再任)

保健医療技術学部
末安民生 教授(新任)

2022年度 定年退職教員

仏教学部
稲岡 誓純(仏教学部仏教学科)

保健医療技術学部
坂口 光晴(保健医療技術学部理学療法学科)

文学部
三谷 憲正(文学部日文学科)

教職支援センター
高橋 広行(教育実習担当講師)

歴史学部
宮澤 知之(歴史学部歴史学科)

古武 正思(教育実習担当講師)

矢田 明彦(教育実習担当講師)

保健医療技術実習センター
永田 糸み子(作業療法実習担当)

BOOK Information 本
著者 本学の教員による
出版社 刊行物を
出版日 紹介します。
価格

仏教東漸の道 インド・中央アジア篇 (シルクロード研究論集1巻)
分担執筆/松田和信 (仏教学部 教授)
東洋哲学研究所
2023年3月
定価(税込)4,500円

日本文学研究法
著/坂井健(文学部 教授)
北斗書房
2023年2月
定価(税込)3,300円

平田篤胤 狂信から共振へ
共編著/斎藤英喜(歴史学部 教授)
法蔵館
2023年2月
定価(税込)6,600円

神道の近代 アクチユアリティを問う
共編著/斎藤英喜(歴史学部 教授)
勉誠出版
2023年3月
定価(税込)3,520円

歴史と地域のなかの神楽
共編著/斎藤英喜(歴史学部 教授)、八木透(歴史学部 教授)
法蔵館
2023年4月
定価(税込)3,850円

時代を拓いた教師たちⅢ 実践記録で紡ぐ戦前教育実践への扉
共編著/田中耕治 (教育学部 客員教授)
日本標準
2023年3月
定価(税込)2,420円

心理学的支援法
分担執筆/藤岡勲(教育学部 准教授)
ミネルヴァ書房
2023年4月
定価(税込)2,640円

学習の環境 ーイノベーション型な実践に向けてー
共訳/山内乾史(教育学部 教授)
明石書店
2023年3月
定価(税込)4,950円

これからの暮らしと経済
編著/安藤潤(社会学部 教授)
文真堂
2023年3月
定価(税込)2,970円

いまから始める地方自治(改訂版)
編著/上田道明(社会学部 教授)
法律文化社
2023年4月
定価(税込)2,750円

増補改訂 近代仏教スティーズ
共編著/大谷栄一(社会学部 教授)
法蔵館
2023年4月
定価(税込)2,200円

東アジアと朝鮮戦争70年 メディア思想・日本
編著/崔銀姬(社会学部 教授)
明石書店
2022年12月
定価(税込)4,620円

高齢者の経済的虐待の予防 ー自己責任時代の権利擁護ー
著/坂本勉 (社会学部 准教授)
学事出版
2023年4月
定価(税込)6,600円

高齢期における リスク管理とその対応策 ー高齢者への虐待予防にむけてー
訳/坂本勉 (社会学部 准教授)
ブックウェイ
2020年3月

ドイツの幼児教育における ヒルドランツ
著/中西さやか (社会学部 准教授)
春風社
2023年3月
定価(税込)4,400円

ファンタジーな生物学
監修/小澤一史 (保健医療技術学部 教授)
恒星社厚生閣
2023年2月
定価(税込)2,750円

Cross-link Basic リハビリテーションテキスト 生理学
分担執筆/小澤一史 (保健医療技術学部 教授)
Medical View
2022年12月
定価(税込)4,950円

地域在宅看護過程 第2版
分担執筆/濱吉美穂 (保健医療技術学部 准教授)
医学書院
2023年1月
定価(税込)4,180円

老年看護学実習ハンドブック
編集/濱吉美穂 (保健医療技術学部 准教授)
中央法規出版
2023年6月
定価(税込)2,200円

入試に関するお知らせ

オープンキャンパス

[日程]8月5日(土)、8月6日(日)、10月8日(日) [場所]紫野キャンパス・二条キャンパス(同時開催)

学校推薦型選抜(公募制)

試験日	試験会場
11月21日(火)・22日(水)・23日(木・祝)	京都(本学)・東京・金沢・名古屋・名張・米原・福知山・大阪・神戸・和歌山・岡山 ※11月23日は京都(本学)、米原、大阪のみ実施

*一般選抜(A日程)、一般選抜(B日程)の試験日等は、次号(№27)でお知らせします。

*各入試の出願期間、試験科目等詳細は本学ホームページ 佛敎大学入試情報サイトをご覧ください。



お問い合わせ先：入学部

通信教育に関するお知らせ

2023年度後期 入学志願受付期間

Ⅳ期：8月22日(火)～ 8月31日(木)

Ⅴ期：9月 1日(金)～ 9月30日(土)

Ⅵ期：10月 1日(日)～10月13日(金)

2023年度後期 通信教育課程 入学説明会開催

8月～9月にかけて、全国各地(東京・名古屋・京都・大阪・福岡)およびオンラインで開催します。

詳しくはこちら



お問い合わせ先：生涯学習部

研究活動

「研究活動報 manako」をご存じですか？



本学ホームページに「研究活動報 manako」と題して、本学教員の研究活動を発信しています。ぜひご覧ください。



宗教文化ミュージアム

イベントカレンダー(2023年7月～12月)



宗教文化に関する有形・無形文化財の調査・資料収集および保存・公開、宗教文化情報の高度利用化などを行い、その成果を広く公開しています。

開館時間 10:00～17:30(※入館は17:00まで)
入館料 無料 休館日 ホームページ等でご確認ください

お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム
〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26
TEL:075(873)3115 FAX:075(873)3121



日時	内容
7月 1日(土)～7月29日(土)	平常展示「祈りと祀り、そして暮らし—宗教文化研究への誘い—」 ※日曜日休館
9月 2日(土)～9月30日(土)	平常展示「祈りと祀り、そして暮らし—宗教文化研究への誘い—」 ※日曜日・祝日休館
秋期	企画展(準備中) ※最新情報は当ミュージアムのホームページをご確認ください。
11月25日(土) 14:00～17:00	シアター上映会「まだまだあるぞ京都の風流踊り」(仮題)

B-ism

2023 July



令和5年春、学生たちの満開の笑顔がキャンパスに戻って来しました。「青春って、すごく密なので…」昨年の全国高校野球選手権大会優勝インタビューでの、仙台育英高校須江航監督の心に染み入る言葉を耳にし、待ち焦がれた情景が今まさに現実のものとしてキャンパスで繰り広げられています。この喜びを噛みしめつつこの3年を振り返り、経験を活かし、前進できればと意を強くしました。



佛敎大学広報課

B-information

みんなの掲示板

2023年 主な行事予定

学校推薦型選抜(公募制)	Date 11/21 (Tue.) 11/22 (Wed.) 11/23 (Thu.) (祝)	第14回ホームカミングデー2023	Date 11/3 (Fri.) (祝)	第57回鷹陵祭(学園祭)	Date 11/3 (Fri.) (祝)・4 (Sat.) (祝)・5 (Sun.) (祝)	創立記念式典	Date 10/23 (Mon.)	総合型選抜(自己推薦制)、同窓選抜、宗門後継者選抜、帰国・外国人選抜等	Date 10/22 (Sun.)	学位記卒業・修了証書授与式(通学課程・通信教育課程9月卒業修了)	Date 9/30 (Sat.)
--------------	---	-------------------	----------------------	--------------	--	--------	-------------------	-------------------------------------	-------------------	----------------------------------	------------------

佛敎大学 公式SNS

- 公式 Facebook アカウント名: bukkyo.univ
- 公式 Twitter アカウント名: @bukkyo_univ
- 公式 Instagram アカウント名: bukkyouniversity

「B-ism」のバックナンバーが見られます

当誌「B・i・s・m」は、佛敎大学広報課が発行する広報誌です。佛敎大学の「人」「教育」「研究」などを、より多くの方々に知っていただく目的で、佛敎大学の魅力を伝えるべく、さまざまな企画をお届けしています。これまでに発行された「B・i・s・m」は本学ホームページからも閲覧できます。

《アドレス》
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/publicity/
トップページ ▶▶▶ 大学案内 ▶▶▶ 大学広報

読者アンケートのお願い

B-ismに関するアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。以下のフォームより応募ください。

《応募フォーム》
https://www.bukkyo-u.ac.jp/about/activity/pubulicity/form/b-ism26.html ▶▶▶

- ①佛敎大学 祇園祭うちわ 十手ぬぐいセット 10名
- ②佛敎大学 オリジナルキャップ 1名
- ③佛敎大学 ぶったんオリジナルダブルクリップ+タオルハンカチセット 5名
- ④佛敎大学 オリジナル水筒300ml (白/黒) 各1名

※応募締切：2023年9月20日
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

「京都市ふるさと納税」で、佛大生の社会貢献活動支援が可能

社会連携センターでは、地域と連携した社会貢献活動に取り組んでいます。「京都市ふるさと納税」の寄付メニュー「京都の大学・学生の活動を応援」より、佛敎大学を応援したい大学に指定いただきますと、寄付金の一部が本学に補助金として交付されます。返礼品が受け取れる(※)とともに、学生の社会貢献を応援できるメニューです。ぜひ、佛敎大学をご指定くださいますようお願いいたします。

※京都市内にお住まいの方には、ご寄付いただいても返礼品は送付されません。

佛敎大学へのご寄付をお考えの方はこちら
https://www.bukkyo-u.ac.jp/donation/application/

